

議 事 録

会合名	: 伊奈学園同窓会 2014 年度 第 2 回 理事会
開催日時	: 2015 年 2 月 15 日(日) 18 時 00 分～20 時 00 分
開催場所	: 浦和コミュニティセンター(第 6 集会室)
出席者 (敬称略)	: 四役→村松(4期)、畠山(6期)、石川(8期)、船崎(2期)、城口(4期)、加藤(10期)、 早坂(13期) 理事→駒井(3期)、藤(4期)、北野(5期)、渡辺(7期)、菅原(8期)、佐藤(11期)、 新井(11期)、小林(19期 *旧姓:富田)、小村方(19期)、斉藤(26期) オブザーバー→石松(10期)、田中(26期)
作成日	: 2015 年 3 月 29 日 (作成者:渡辺 敏光・7期)
テーマ	: 伊奈学園同窓会 2014 年度 事業報告(案)など

伊奈学園総合高等学校同窓会副会長の畠山(6期)が開催の挨拶を行い、副会長の石川(8期)が議長として出席者の確認をした後、開会を宣し議事に入った。

※ なお、議事録作成者は書記の渡辺(7期)を指名。

議事

・議案第1号 2014 年度事業報告(案)

1. 一般活動報告 (4期・村松)
2. 委員会活動報告
 - 2-1. 同窓会会報誌 (代行:4期・村松 ※13期・早坂がこの時点では未到着のため。)
 - 2-2. 会員名簿維持管理委員会 (代行:4期・村松 ※担当が欠席のため)*別紙参照
 - 2-3. ウェブサイト維持管理委員会 (10期・加藤) *別紙参照
 - 2-4. ホームカミングパーティ実行委員会 (4期・村松) ※担当不在のため)
 - 2-5. 先輩と夢を語ろう実行委員会 (8期・石川) *別紙参照
 - 2-6. 年次活動推進委員会(代行:4期・村松 ※担当が欠席のため) *別紙参照
 - 2-7. いなじん交流推進委員会 (6期・畠山) *別紙参照
 - 2-8. 会則改正検討委員会 (4期・城口)

○議案第1号は全員賛成により承認された。(※有効投票者数は議長、及びオブザーバー参加者を除く15名。)

・議案第2号 2015 年度事業計画(案)

1. 一般活動計画 (4期・村松)
- 2-1. 会報誌編集委員会 (13期・早坂)
- 2-2. 会員名簿維持管理委員会 (代行:4期・村松 ※担当が欠席のため)
- 2-3. ウェブサイト維持管理委員会 (10期・加藤)

・同窓会ウェブサイトを再構築することのだが、再構築後はサーバー費用以外の費用は発生し

ないのか？

→費用の発生はしない予定。専門委員長がそれぞれの活動内容をUpするなど、専門的な知識が無くても更新できるように構築する。

・3社から見積りを取っているが、金額以外の評価を整理してほしい。メリデメを挙げてもらわないとどの業者を選定すれば良いか判断材料がない。

→どこに頼むかは決めの問題でしかない。見積金額が安い業者は最低限の構築費用だけで、使い勝手が良いようにカスタマイズするには別途費用がかかることになるため、最終的な値段には違いがないと考える。3社のなかで採用したいと考えているのは、桑原さんの見積りで、同窓生でもあることから今後のメンテナンスのことも考えると信頼性が高いと思う。

・次回の理事会でデモ画面を見せてほしい。

→検討する。

・メンテナンス費用は特に発生しないとのことだが、ウェブサイト維持管理委員会の担当が変わっても維持できるのか。

→担当が変わっても運用できるように、引き継ぎをしっかりと行いたい。

・同窓会ウェブサイトでもSNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用したらどうか？

→考えてはいるが、費用が高くなるので別途検討したい。

2-4. ホームカミングパーティ実行委員会(4期・城口)

・「未来へのはがき」は、今まで会報誌編集委員会で予算をとり、その流れで卒業生にも配っていたが、HCP 実行委員会で「未来へのハガキ事業」を行うのであれば、印刷・配付についても管轄を移した方が良くと思う。

→2015年度から変更する。

・「未来へのハガキ事業」で具体的にどのようなことを行うのか。HCP 実行委員長が交代することもあり、具体的な計画を詰める必要があると思う。

→委員会内で検討する。

2-5. 先輩と夢を語ろう実行委員会 (8期・石川)

2-6. 年次活動推進委員会 (代行:4期・村松 ※担当が欠席のため)

2-7. いなじん交流推進委員会 (6期・畠山)

○議案第2号は全員賛成により承認された。(※ここで菅原(8期)が参加し、有効投票者数は議長、及びオブザーバー参加者を除く16名(以下、同様))

・議案第3号 2015年度予算計画案 2期・船崎) *別紙参照

・ウェブサイト再構築費用を予算計上しなくて良いか。

→予算の修正は総会の承認が必要なため、次回の理事会で予算修正案を作成し、2015年度の総会に諮ることとする。

○議案第3号は全員賛成により承認された。

・議案第 4 号 伊奈学園同窓会創立 30 周年記念事業について (4 期・村松) *別紙参照

・約 100 万円の見積だが、予算はどうするのか。

→まだ決まっていないが、専門委員会を立ち上げ、同窓会費から支出する方向で検討したい。

・学校の 30 周年記念事業でも毎年基金として積み立てていたが、こういった事業に対する基金を積み立てることで執行前から支出することを既成事実として認識させることに違和感を覚える。

また、学校の 30 周年事業と違って、自分達が遊ぶ費用を同窓会費から出すと受け取られると、否認される可能性がある。同窓会費を使う事は慎重に考えた方が良いのではないのか。

→同窓会が発足して 30 年という節目なので、今までの活動を振り返る良い機会だと考えている。

仮に同窓会費から予算が取れなかったとしても、何らかのイベントは行いたい。

○議案第 4 号は賛成 15 名により承認された。

・議案第 5 号 部活動支援費用の申請書式変更について (4 期・村松) *別紙参照

・申請書式の変更に至った経緯は、男子バレーボール部が春高バレーに出場する際に学校から支援を求められたが、支援費用の用途が明確でなかったため、用途を明らかにして申請してもらおうと共に報告書を提出してもらおうこととした。今回の男子バレー部への支援費用は、応援に使用するスティックバルーンを購入したとのことである。

・「他に支援が得られる場合を除き」とあるが、部活動については学校からお金が出るはずなので、ここで想定している支援とは同好会が対象になるのか。

→同好会でも学校からお金を出している場合もある。

・お金を渡すのでは同窓会から支援したという効果が薄いため、横断幕などを作って同窓会の名前を入れた方が生徒達に伝わるのではないのか。

→必要があれば制作するが、支援はあくまでも学校側の申し出によるので、同窓会から支援内容は指定できない。

・同窓会ウェブサイトでは応援メッセージを送る際に「こういう支援をしました。」ということも併せて掲載したいので、報告書には写真なども添付してもらいたい。

→学校に支援費用の制度について説明し、周知してもらおうようにする。

・お金を渡すのではなく、卒業生が古巣に戻って指導を行うなど、同窓会として支援できることが他にもあるのではないのか。

→そういった支援も考えられる。

○議案第 5 号は全員賛成により承認された。

・議案第 6 号 年次活動推進制度の補助金利用要領の見直しについて(2 期・船崎)

*別紙参照

・5 万円が上限になっているが、実際の人数のお金がもらえると良いと思う。

→仮に 800 人の卒業生が集まったら 80 万円を同窓会費から出すことになる。どれだけの人数が集まるかにもよるが、何らかの歯止めが必要である。要望に応えたいのは、山々だが実情としては難しい。

・理事を学年単位でまとめていくことを目指していたはずだが、今後もそれを目指していくのか。事

前に理事として登録しなくても補助金が出るとなると、HR 単位のクラス会でも補助金を出すということか。

→開催後に理事会に出席して活動報告をしてもらう、という要件は残っているので、補助金を使用したら理事になってもらうという点では今と同じである。

・事前の計画が必要ないと、卒業後 10 年、といった節目の年に HR 単位でクラス会を開いた場合に、早いもの勝ちで補助金を使われる可能性がある。利用要領は改めて詰めた方がよい。

→次回の理事会までに検討する。

○議案第 6 号は全員賛成により承認された。

・2015 年度役員人事(案) *別紙参照

○人事案は全員賛成により承認された。

上記内容の議案の審議を終了し、議長の石川が議会の閉会を宣し、本会は終了した。

以上